

# **フィッシング対策協議会**

**月次報告書（2006年10月分）**

**フィッシング情報届出状況**

2006年11月20日

## 目次

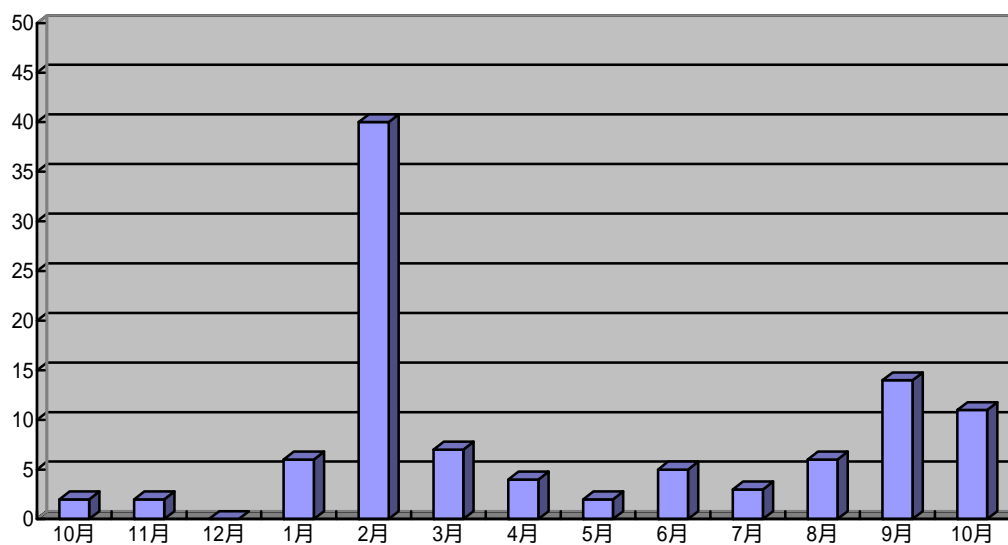
1.	フィッシング情報届出状況 .....	2
1.2.	業種別の状況 .....	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国 .....	6
1.4.	フィッシングメールの動向 .....	6
1.5.	フィッシングサイトの動向 .....	7
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報 .....	7
1.7.	その他の動向 .....	7
1.8.	総括 .....	7

# 1. フィッシング情報届出状況

## 1.1. フィッシング情報届出状況

- ・ フィッシング情報の届出件数： 11 件

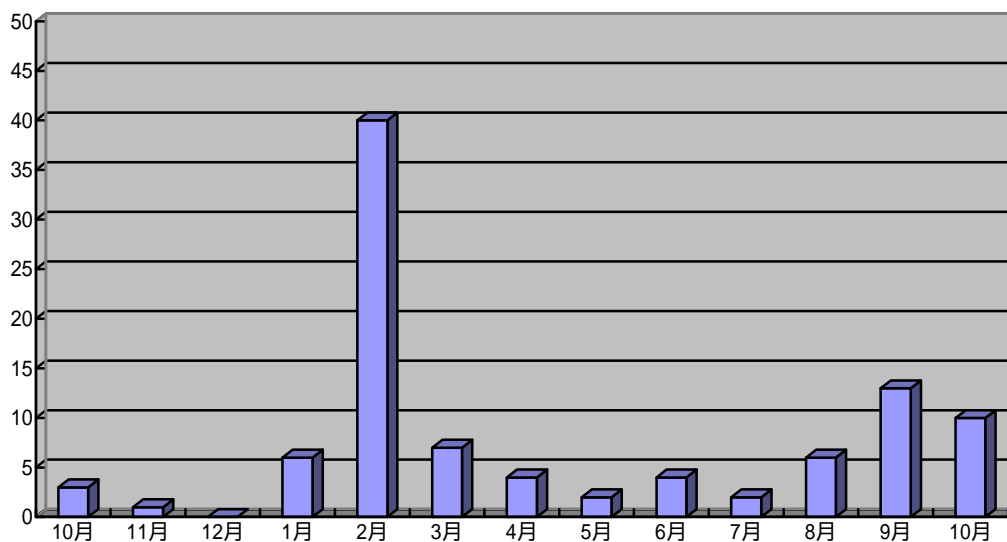
2006 年 10 月度に報告されたフィッシング情報は 11 件で、先月度に比べて 3 件減少しましたが、過去 1 年間の平均よりも多い件数でした。



フィッシング情報の届出件数(2005年10月～2006年10月)

・ **フィッシングメールの件数**： 10 件

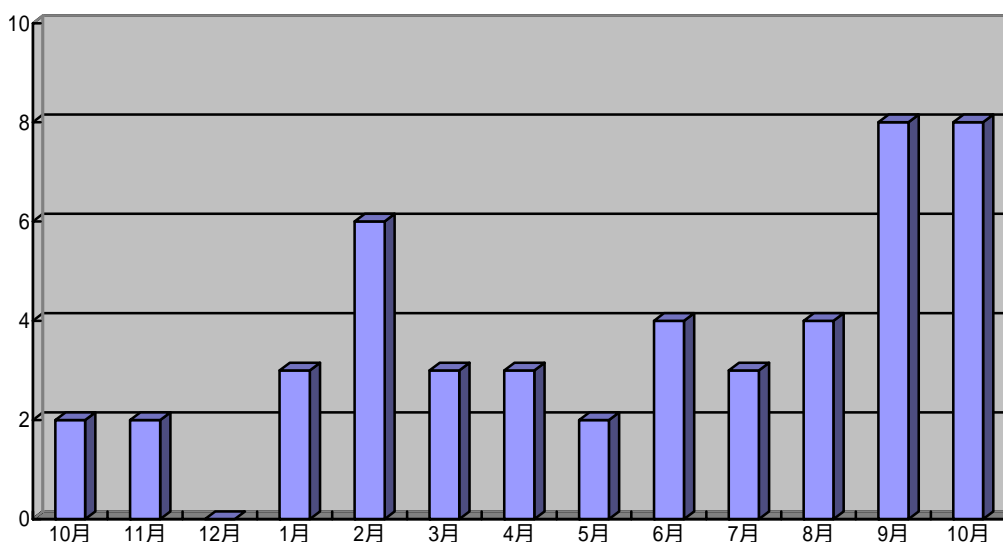
2006 年 10 月度に報告されたフィッシングメールは 10 件で、先月度よりも 3 件減少したものの平均的な月よりも多めの件数でした。



フィッシングメールの件数(2005年10月～2006年10月)

・ **フィッシングサイトの件数**： 8 件

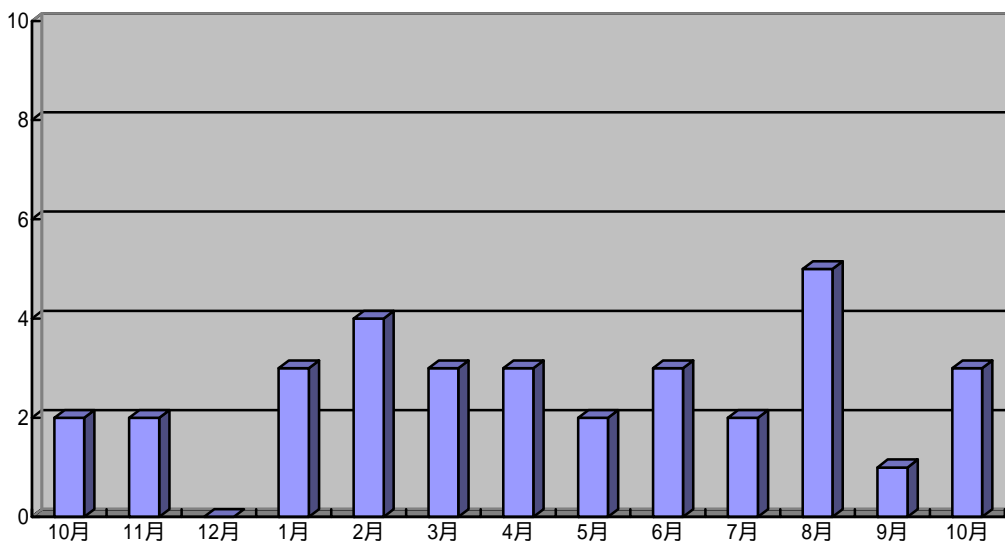
2006 年 10 月度に報告されたフィッシングサイトの数は 8 件で、先月度と並び過去最多の件数となりました。



フィッシングサイトの件数(2005年10月～2006年10月)

・ **フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数**： 3件

2006年10月度にブランド名を悪用された企業の件数は3件で、「Yahoo! Japan」、「セントラルファイナンス」、「SunTrust Bank」が標的となりました。

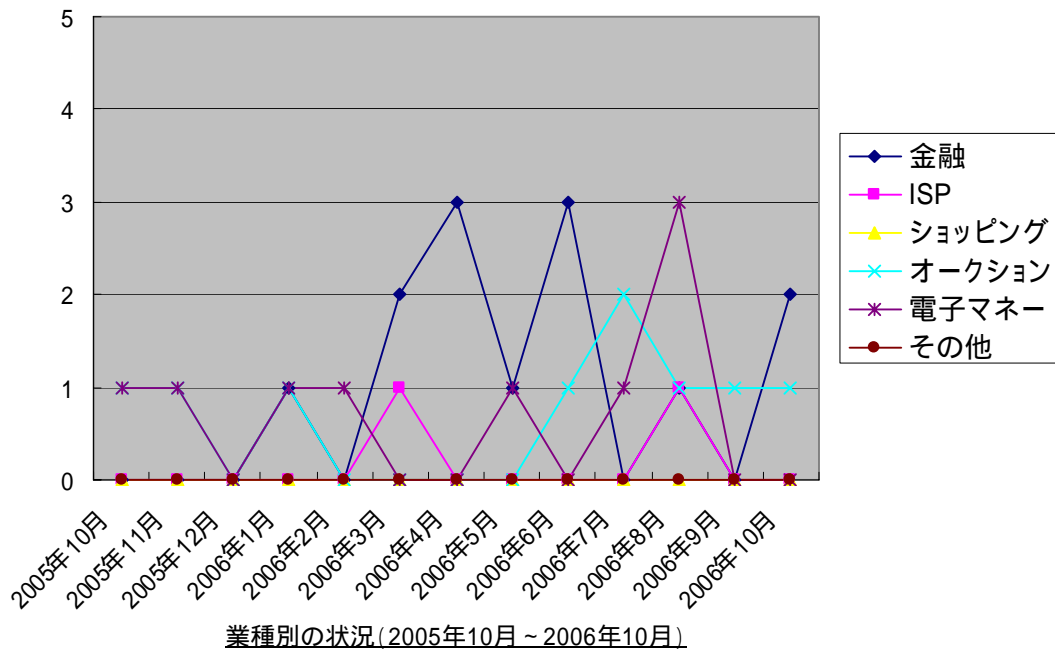


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2005年10月～2006年10月)

・ **もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国**： 日本(6件)

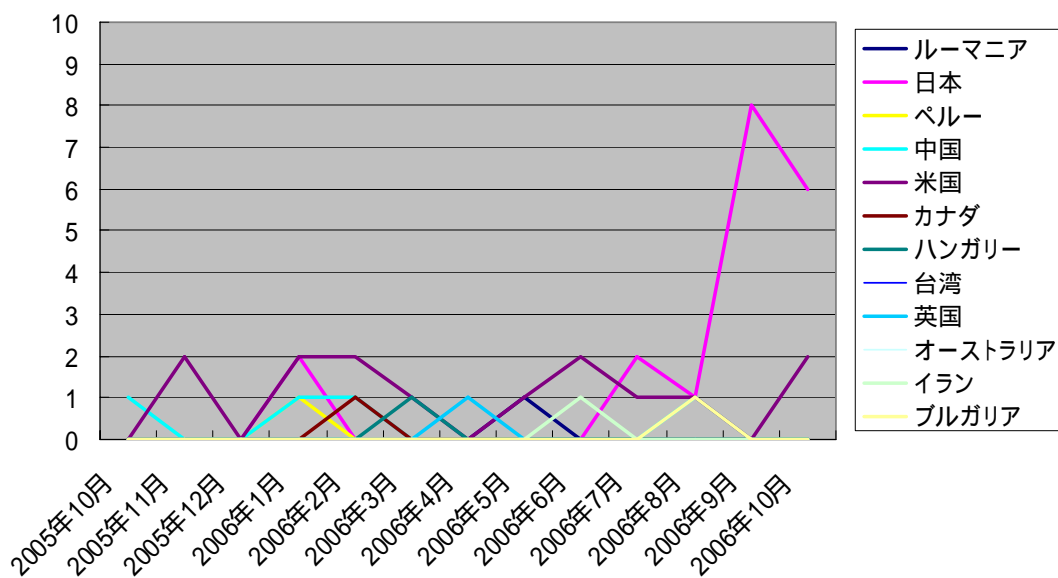
## 1.2. 業種別の状況

2006年10月度に標的となった業種は、金融2件、オークションサイト1件でした。



### 1.3. フィッシングサイトのホスト国

2006年10月度に報告されたフィッシングサイトは、6件が日本で、2件が米国でホスティングされていました。



フィッシングサイトのホスト国(2005年10月～2006年10月)

### 1.4. フィッシングメールの動向

10月度に報告されたフィッシングメールは計10件で、「Yahoo! Japan」をかたる日本語のメールが8件、日本の信販会社「セントラルファイナンス」と米国の銀行「SunTrust Bank」をかたる英文メールが1件ずつ報告されました。「Yahoo! Japan」をかたるメールはこれまで報告されているものと同じ型の「Yahoo! JAPAN - ユーザーアカウント継続手続き」と称して偽サイトに誘導するもので、先月度に引き続き多くの報告が寄せられました。

今月新たに報告のあった「セントラルファイナンス」をかたるものは英文のHTMLメールで、本文には「新しいセキュリティシステムを導入したので認証を行ってください」と書かれており、リンクをクリックするとGoogleのリダイレクタを利用して偽サイトに飛ばされるようになっていました。

「SunTrust Bank」をかたる英語のフィッシングメールはHTMLメールで、本文の大部分が1枚の画像になっており、画像をクリックすると同銀行の偽サイトに誘導される仕組みとなっていました。メールの内容は、「ソフトウェアのアップグレードを行うので、下記のリンクを辿ってユーザ確認を行ってください」といった従来からみられるものでした。

## 1.5. フィッシングサイトの動向

今回報告されたフィッシングサイトは計 8 件で、そのうち 6 件が「Yahoo! JAPAN」をかたる日本語のものでした。フィッシングメールと同じようにフィッシングサイトもこれまでに確認されているものと同じタイプで、Yahoo! JAPAN ID とパスワード、クレジットカード番号、氏名、性別、生年月日などを入力させるフォームが用意されていました。どのサイトもすべて日本のレンタルサーバ上でホスティングされていました。サイトの URL には紛らわしい文字列は使用されておらず、一目で怪しいと分かるものが使われていました。

「セントラルファイナンス」をかたるフィッシングサイトは、同社のインターネットサービス「CFWebiew」のログオンページに似せて作られており、会員 ID、パスワード、クレジットカード情報の入力を促すものでした。サイトの URL は本物とは明らかに異なり、また SSL 通信も行われていませんでした。サーバは yahoo.com のウェブホスティングサービスを利用して立ち上げられており、アメリカに設置されていました。サイトの存在は 5 日には確認されていたものの、11 日未明まで存在し続けました。

「SunTrust Bank」をかたるサイトは、米国でホスティングされていました。情報詐取画面のドメインは「http://www.suntrust.com.xxx.xxx/」といった具合に最初の部分に本物のサイトのドメイン名が使われていました。

## 1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

## 1.7. その他の動向

特にありません。

## 1.8. 総括

10 月度には計 11 件の報告があり、2 件を除いてすべてが「Yahoo! Japan」をかたる日本語のフィッシングに関するもので、先月に引き続き多くの報告が寄せられました。同様の手口の報告は 7 月度からあり、これで 4 ヶ月連続となりました。件数については、7 月度、8 月度はそれぞれ



れ2件、1件でしたが、9月度、10月度は14件、8件と多くなっており、今後もこの傾向が続く可能性も考えられます。

また今月度は、これまでみられなかった「セントラルファイナンス」の顧客をターゲットにしたフィッシングの報告がありました。今回報告のあったものは英文メールでしたが、同社のWebサイトによると日本語のものも確認され、またサイト自体も6日間ほど閉鎖されずに残っていたこともあり、危険性の高いものでした。

上記のように、先月度、今月度と「Yahoo! オークション」をかたるものが大半でしたが、日本の消費者を狙ったものが多く報告されており、今後も増加していくことが予想されますので、今後も十分注意が必要です。